



# 叙勲、褒章、大臣表彰、世界大会優勝・出場 全国大会出場者を紹介

## 秋の叙勲

- ◆瑞宝双光章  
上林均(安岡) 気象業務功労(元 輪島測候所長)
- 佐藤裕之(田中町) 教育功労(元 公立小学校長)
- ◆瑞宝単光章  
井本正樹(与保邑) 消防功労(元 舞鶴市与保邑消防団団長)
- 岡山芳朗(倉谷) 防衛業務功労(元海上自衛隊舞鶴造修補給所)
- 野瀬三男(安布) 消防功労(元 舞鶴市高野消防団団長)
- 前野英伸(安岡) 防衛業務功労(元海上自衛隊舞鶴造修補給所)
- (以上敬称略、11月3日発令)

## 危険業務従事者叙勲

- ◆瑞宝双光章  
須崎純一(森本町) 防衛功労(元 1等海尉)
- ◆瑞宝単光章  
久保二郎(南田辺) 防衛功労(元 3等海尉)
- 黒瀧正成(倉谷) 海上保安功労(元海上保安官)
- 近藤真秋(行永) 防衛功労(元准海尉)
- 西津真三(行永) 海上保安功労(元海上保安官)

吉岡悦治(伊佐津) 海上保安功労(元海上保安官)  
(以上敬称略、11月3日発令)

## 令和4年度優良PTA文部科学大臣表彰を受賞

舞鶴市立倉橋第二小学校 PTA  
地域の安全に関する取り組みとして、地域団体と地域の人々の力で作成された「地域安全ウォークマップ」や、コロナ禍でもできる家庭教育支援「倉二家庭読書の日」として、読書の大切さを広げる取り組みが高く評価されました。

## 令和4年度農林水産祭内閣総理大臣賞を受賞

JA京都にのくに万願寺甘とう部  
会協議会(会長 添田潤)  
京のブランド産品、地理的表示(GI)登録などによるブランド化や販売力の強化、新規就農者の継続的な確保、優良生産者の栽培技術を全体で共有することで生産力向上に努め、これまで協議会が「丸」となって取り組まれてきたことが高く評価されました。

## 世界大会優勝おめでとう

- ☆SUPERBALL 2022 World Open Freestyle Football Championships  
(8月8日〜13日、チェコ)
- ◆Double Routine部門  
LA CLASSIC (YOSHI、森 YU-JI(浜))
- ☆第4回 WBSCU-23 ワールドカップ(野球)  
(10月13日〜23日、台湾)
- 谷優希(日本代表、西舞鶴高出身)

## 世界大会出場おめでとう

- ☆ハレーボール2022女子世界選手権  
(9月23日〜10月15日、オランダ、ポーランド)
- 井上愛里沙(日本代表、西舞鶴高出身)
- ◆全国大会出場おめでとう  
☆全日本少年少女空手道選手権大会  
(6月25日、大阪府)
- ◆小学1年生の部男女混合  
畠田侍夢(中舞鶴小1年)
- ◆小学3年生女子の部  
畠田小夢芽(中舞鶴小3年)

## 令和4年度全国高等学校総合体育大会ポルト競技大会

- (8月11日〜14日、愛媛県)
- ◆少年男子ダブルスカル  
谷口悠真(海洋高3年、青葉中出身)
- ☆第31回全日本実年ソフトボール大会  
(9月3日〜5日、広島県)
- 神内敏郎(公文名)
- ☆第17回全日本ハイシニアソフトボール大会  
(9月23日〜25日、岐阜県)
- 生田勝美(竹屋町)、井澤明生(公文名)、岩崎孝志(高野台)、梅原義範(下福井)、島田巧一(京月東町)、志馬義高(愛宕浜町)、野瀬郁生(余部上)、桝村房生(白浜台)、林田富夫(伊佐津)、平野太一(引土)、藤山豊一(喜多)、水上清広(森)、山口次男(森本町)
- ☆第8回全国空手道選手権大会  
(9月25日、東京都)
- ◆小学3年生男子組手競技  
森狭心(中筋小3年)
- ☆第36回全日本シニアソフトボール大会  
(10月1日〜3日、宮崎県)
- 井澤明生(公文名)、志馬義高(愛宕浜町)、西岡均(清美が丘)、桝村房生(白浜台)、平野太一(引土)、藤山豊一(喜多)、山口弘(満寺)

## 第77回国民体育大会ポルト競技

- (10月1日〜4日、栃木県)
- ◆少年男子舵手つきオドルブル  
谷口悠真(海洋高3年、青葉中出身)
- ☆第77回国民体育大会ソフトテニス競技  
(10月7日・8日、栃木県)
- ◆少年男子の部  
内藤拓磨(福知山成美高3年、城南中出身)
- ☆第88回全日本大学総合卓球選手権大会  
(10月20日〜23日、滋賀県)
- ◆個人の部  
千坂雄也(同志社大4年、城北中出身)
- ☆JOCジュニアオリンピックカップ第15回U18陸上競技大会  
(10月21日〜23日、愛媛県)
- ◆男子三段跳び  
浦川尚樹(浴南高2年、城北中出身)
- ☆令和4年度全日本卓球選手権大会  
(12月2日〜4日、岡山県)
- 《マスターズの部》  
◆男子ローエイティ  
竹内俊夫(七日市)
- ◆男子ハイセブンティ  
田向利行(行永)
- ◆男子ローセブンティ  
時岡重信(南田辺)
- 《以上敬称略》



アゼトウガラシ(ゴマノハグサ科)



まいづる花図鑑

【協力】 瓜生勝朗氏

Vol.191

田やあぜなどのやや湿ったところに生える1年草。茎は斜上し、高さ10〜20センチで無毛。葉は対生し柄はなく、披針形で先はややとがり、長さ1〜3センチ、幅3〜6ミリ、縁に低い鋸歯がある。秋、上部の葉腋に1個ずつ花を付ける。萼は深く5裂し、裂片は線形。花は淡紅紫色で長さは1センチほど、2唇形で下部は筒状になる。果実は線状披針形で長さ1センチほど。名前の由来は、果実がトウガラシに似てあぜに生えることから。本州以南に分布する。

## ドクターのひろみ

## 日本の危機的な人口減少を抑制するために(その4、少子化対策1-2)

少子化対策として重要なものは、社会全体で子育てしやすい環境を創造することと考える。育児休業はもちろん、フレックスタイムの利用やリモートによる在宅勤務など「育児と仕事を両立できる勤務体制」が望まれる。さらには、育児休業や育休手当が、夫婦の生活をしっかりと支える内容となっているか、さまざまな角度から考慮しなければならない。

企業の中には、人件費を抑制する必要に迫られ、正規社員を減らし、非正規社員や派遣社員を増やす企業もある。その結果、育児休業などを利用できない

社員が増える可能性もあり、社会で対応すべき課題のひとつであると考ええる。

女性にとって出産は人生の大仕事である。子どもを産み育てることは大変なことであるが、それにも勝るすばらしい喜びがある。家族、職場、地域の総力でサポートできる社会にしなければならぬ。

経済的に親離れできない若者が少なくないことも、少子化の一因だと考える。中学生の頃から、将来は親から自立して社会のため人のために働く重要性を認識すること、就く職業を見据え社会人として活躍する自覚を持つこと。その実現に向け進学に必要な奨学金制度を社会の仕組みとして充実させることも少子化対策につながるのではないだろうかと考えている。



## 今月の「ツルいいんすた」

「#ツルいい舞鶴」「#myツルいい」のタグが付いたインスタグラムの投稿の中から、シティブランディングプロジェクト(※1)メンバーが投稿をピックアップ! 投稿者(写真左上がアカウント名)からのコメントと併せて紹介します。舞鶴の良いところを再発見しましょう。



## 今月の表紙

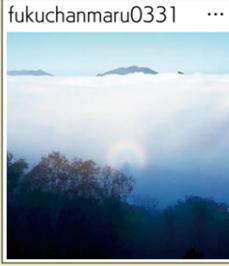
秋晴れの日曜日、お気に入りのカメラをぶら下げて五老ヶ岳公園へ行きました。もみじ広場で見事なススキと紅葉を見たとき本格的な秋の訪れを強烈に感じました。夏が好きな自分としては若干の哀愁を感じつつも、この美しい季節の移ろいを写真に収めたい! と思い撮った1枚です。



うまいづる  
舞鶴のアルゲット(ぶどう)葡萄で有名な梅原農園さんの栗。夏は葡萄。秋は栗。旬のものをいただく事が豊かな気持ちにつながります。



日常  
舞鶴市の公式アカウントで今だけ「1」になれると知り、「1」をしてきました! ちょうど夜の赤れんがも見てみたいと思っていたので、きれいなライトアップが見られて良かったです。



ブロツケン現象(※2)  
この時期になると雲海が気になります。朝起き霧が出てくるか見て、ライブカメラを確認して行きますが、上に行くと周りが真っ白で見えない時も。この日もそうだったけど一瞬の晴れ間に見えてラッキーでした。

※1...「舞鶴をまちの内側から元気にしたい」「市民の皆さんにもっとまちへの誇りや愛着を持ってほしい」という思いで令和2年度から始まった事業。市内事業者、教員、市の若手職員などで結成し舞鶴の魅力発信に取り組んでいる

※2...太陽を背にした時、自分の正面にある霧や雲に映った自分の影のまわりに、虹のような色づいた光の輪が見られる現象